



それぞれの「目標」に向かって

校長 鈴木 優介

新緑が眩しく、春の風が心地よい季節になりました。新年度になって、早くもひと月が過ぎました。コロナ禍の脅威は依然として払拭できませんが、学校では大きな事故やケガも無く、子供たちはとても楽しそうに生活しています。頼もしいくらい元気いっぱいです。

さて、「一年の計は元旦にあり」という諺はあまりにも有名ですが、日本では入学式や始業式、あるいは新社会人のスタートが4月に集中しているため、実感としては「新学年の計は4月にあり」の方が現実味を帯びている気がします。事実、本校でも子供たちはこの一年間の「目標」をそれぞれ考え、学級で発表したり、教室に掲示したりして、自分なりの言葉で表現していました。

「まいあさ6じにおきて、にこにこがっこうに行く。」「さんすうのけいさんがんばります。」

低学年の子供たちの目標ですが、どれもやる気に満ち溢れているものばかりです。

「休み時間と授業の時間の切り替えをしっかりとる。」「漢字テストは毎回95点以上をとる。」

「自分だけでなく、周りの人のことも大切に作る。」「低学年の見本になるような態度で行動する。」

抜粋ではありますが、中学年や高学年になると、その目標にも具体性や個性が出てきます。言葉にして表現すると、やはり意気込みが強く伝わってきます。より高みを目指し、さらに成長したいという子供たちの素直な思いこそ、頑張る気持ちの原動力なのだと思います。

「『目標が定まっている人間は強い』というのが、僕の信念です。」これは、プロゴルファーの松山英樹選手の言葉です。日本人男子初のマスターズ・トーナメント制覇という偉業を成し遂げた彼だからこそ、その言葉には強い説得力と揺るぎない自信が感じられます。もちろん人によって、目標の内容は千差万別です。しかし、松山選手が言うように、自分自身で「目標を定める」という意志決定こそが、何かを成し遂げる上で欠かすことのできない大切な行動なのかもしれません。

谷戸第二小学校の子供たちも、改善したい課題や伸ばしたい力について、自分と向き合いながら一生懸命考えたはずです。それぞれの「目標」に向かって突き進む子供たちを、私たち教職員は力いっぱい支え、応援していきます。そして、目指す学校像にある**「一人一人の児童のよさが最大限に発揮できる学校」**の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

今月の行事予定（5月）

1	土		17	月	
2	日		18	火	尿検査二次
3	月	憲法記念日	19	水	4時間授業
4	火	みどりの日	20	木	耳鼻科検診(全学年)
5	水	こどもの日	21	金	体育発表会リハーサル 前日準備(教職員)
6	木	安全指導 レビュータイム① 視力検査1年	22	土	体育発表会(雨天:学年ごとに実施)
7	金	がん教育6年 視力検査3.4年	23	日	
8	土	土曜授業(4時間授業)	24	月	振替休業日
9	日		25	火	あいさつ週間 4時間授業 ことばの教室1年
10	月	委員会活動	26	水	4時間授業 (体育発表会予備日)
11	火	視力再検査	27	木	全国学力調査(6年) レビュータイム② 眼科(全)
12	水	(PTA総会書面開催)	28	金	(体育発表会予備日)
13	木		29	土	
14	金	集金日 避難訓練	30	日	
15	土		31	月	読書週間始 クラブ活動
16	日				